



# ステップアップ 畜産！

西部農業事務所家畜保健衛生課（西部家畜保健衛生所）  
〒370-0074 高崎市下小島町 233  
TEL 027-362-2261、FAX 027-362-2260

～記事～

- ★国内における高病原性鳥インフルエンザ発生状況
- ★海外における高病原性鳥インフルエンザ発生状況
- ★飼養衛生管理基準順守状況調査の結果
- ★堆肥の適正な処理をお願いします

～添付資料～

- ★農作業中の事故を防ぎましょう！！－畜産における「転倒」編－
- ★ご存じですか農業用免税軽油

## ★国内における高病原性鳥インフルエンザ発生状況

12月12日現在、家きんでの発生は17道県34事例、野鳥や環境試料（水）からのウイルス検出は15道県101事例です。これは、過去最多だった2020年シーズンを上回るペースであり、ウイルスの浸潤は日本全国に広がっていると推察されます。

また、発生農場での疫学調査の結果、ウイルスは、野生鳥獣を介して農場内に侵入した可能性があります。野生鳥獣及びウイルスの侵入防止対策の徹底をこれまで以上をお願いします！

### ◆◆◆発生農場における疫学調査結果◆◆◆

- ・農場内や近隣のため池に水鳥の飛来を確認
- ・農場周辺において、野生動物や野鳥を目撃
- ・堆肥処理施設内にネコが住み着いている

### 野生鳥獣およびウイルスの侵入防止対策の徹底

- ・防鳥ネットや家きん舎における破損個所の点検
- ・衛生管理区域内や家きん舎に入る際の専用服や専用靴の履き替えや靴底の消毒



野鳥での今シーズン初発生は、これまでで最も早い9月25日（ハヤブサ・神奈川県）でした。渡り鳥の持ち込みによるウイルス侵入時期が早まっており、感染した野鳥が増加していると推察されます。

★発生状況の詳細は別添資料をご覧ください。

## ★海外における高病原性鳥インフルエンザ発生状況

渡り鳥の営巣地を中心に、2シーズン連続で世界的な流行がみられています。欧州や北米大陸では、これまでと異なり、夏季になっても家きん農場で発生し、韓国でも10月以降感染が頻発、今シーズンすでに35農場で発生しています。こうした状況を踏まえ、今後も世界中で感染の拡大が続くと考えられます。

## ★飼養衛生管理基準順守状況調査の結果

9月より毎月、鳥インフルエンザ発生防止対策の最重要ポイントについて各農場に自己点検していただき、報告をお願いしております。

自己点検の結果、衛生管理区域内に立ち入る車両の消毒や車内における交差汚染防止、堆肥舎への防鳥ネット設置、家きん舎ごとの専用靴の履き替えの各項目で不遵守事項が確認されています。(以下表)

農場や家きん舎へは人・車両・野鳥を含む野生動物を介してウイルスが侵入します。侵入するウイルス量を減らし、自身の農場を守るため、対策の徹底を引き続きお願いします。

項目	内容	遵守理由	対策
15①	車両消毒	病原体の農場内持ち込み防止、及び、病原体の持ち出し防止による感染拡大防止	★動力噴霧器等で車両消毒
15②	車内交差汚染	農場外の病原体を農場内に持ち込み防止、及び、農場の病原体を持ち帰ることでの感染拡大防止	★車内のフロアマット等の消毒・専用マットへの交換や車内に消毒スプレーを設置
21③	家きん舎内外の動線交差	外部からの病原体持ち込みの防止	★作業分担や靴の履き替えの徹底 ★出入口での消毒の徹底
24①	防鳥ネットの設置	野生動物の侵入による病原体侵入を防止	★直接野生動物が触れないよう防鳥ネットや保管箱等の設置

## ★堆肥の適正な処理をお願いします

この季節は、生産された堆肥の流通に困っている畜産農家の方も多いかと思えます。また、春先に利用するために**自家の畑に堆肥を散布せずおいておくことは、家畜排せつ物法違反**となってしまいますので注意が必要です。堆肥を流通させるためには、良質な堆肥を生産するとともに、堆肥を利用する耕種農家に知ってもらう必要があります。

自家堆肥の販売情報をインターネットにより周知できます

(公社)群馬県畜産協会では、ホームページ上で堆肥の生産者情報を公開しています。そこに登録されている農場の中には、自農場の堆肥利用者が増えた方もいらっしゃいます。

登録を希望される方は、「群馬県畜産協会」のHP上で「堆肥」で検索していただき、堆肥生産所在地マップから手続き等を確認してください。



西部家畜保健衛生所 〒370-0074 高崎市下小鳥町233  
TEL 027-362-2261 緊急時には24時間対応します  
FAX 027-362-2260

★ 畜産業を廃業された方に送付された場合は、お手数ですがご連絡ください。